資料1

道内の感染状況等について

【令和4年10月6日】

主な指標の状況

10／5	レベル	移行指標			その他指標	
		病床使用率	重症病床使用率	10万人当たり新規感染者数	新規感染者数今週先週比	陽性率
全道	2	20.8%（478床）↘	2.5%（3床）→	272.9人/週（14146人/週）↘	0.75 ↘	24.0% ↘
札幌市	2	21.6%（164床）↘	4.1%（2床）→	262.1人/週（5138人/週）↘	0.67 ↘	47.1% ↘
札幌市を除く地域	2	20.4%（314床）↗	1.4%（1床）→	279.5人/週（9008人/週）↘	0.81 ↘	18.8% ↘

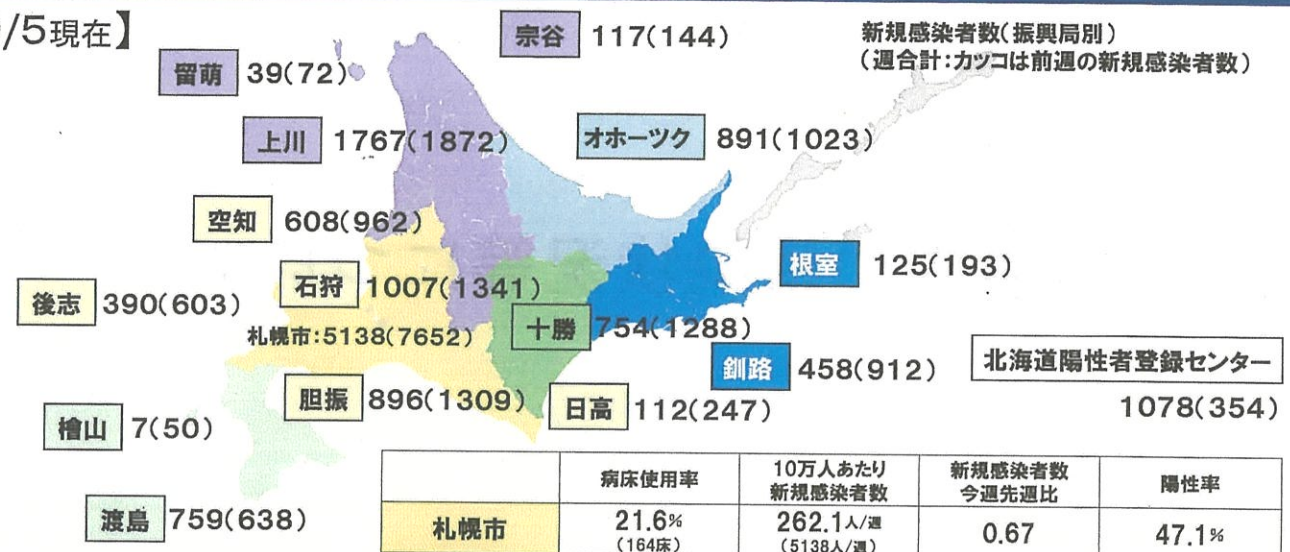
レベル２ 移行指標	20%	又は 20%	15人/週
レベル３ 移行指標	50%	又は 50%	－

※（　）は実数。
※各指標の動向（矢印）は、１週間前との比較。

（注）・令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。
・レベル分類については、国に対し新たな考え方を示すよう求めており、示されるまでの間は、公表しなくなった指標を除いて運用する。

地域における主な指標の状況

【10/5現在】



	病床使用率	10万人あたり新規感染者数	新規感染者数今週先週比	陽性率
札幌市	21.6%（164床）	262.1人/週（5138人/週）	0.67	47.1%
道央圏（札幌市除く）	22.9%（114床）	225.3人/週（3013人/週）	0.70	14.9%
道北圏	33.7%（110床）	330.7人/週（1923人/週）	0.92	19.1%
道南圏	8.0%（18床）	186.3人/週（766人/週）	1.11	22.9%
十勝圏	21.6%（37床）	227.2人/週（754人/週）	0.59	12.9%
オホーツク圏	12.8%（16床）	330.7人/週（891人/週）	0.87	15.0%
釧路・根室圏	9.8%（19床）	199.7人/週（583人/週）	0.53	23.4%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別（圏域別）の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。また、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

総　評　①

【全国の状況】

○ 全国では、新規感染者数、病床使用率いずれも減少傾向が続いている。北海道においては、他の都府県と比較するといずれも減少幅が小さくなってきている。また、今後について、国の専門家からは、今冬の新型コロナウイルス感染症の流行拡大や、季節性インフルエンザの例年よりも早期の流行、さらにはこれらの同時流行が懸念される、と指摘されている。

※参考：10月5日、新規感染者数先週比　東京0.60、大阪0.66、福岡0.71、沖縄0.83（北海道調べ）

【医療提供体制】

○ 病床使用率については、20．8%と減少傾向が続いている。また、札幌市についても21．6%と、減少傾向が続いている。重症病床使用率は2．5%と、低い水準で推移している。

【感染状況】

○ 新規感染者数は、人口10万人当たりでは272．9人。先週比が1を超える日が続いていたが、足下では再び減少に転じている。年代別では、30代以下の割合が引き続き、約6割を占めている。新規感染者数の動向については、全数届出の見直しによる影響を含め、引き続き、慎重にモニタリングをしていく必要がある。

総　評　②

【今後の対策】

○ 新規感染者数は再び減少傾向となったが、感染レベルの一層の引下げを図るため、引き続き、道民の皆様に基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種の検討について呼びかけるとともに、事業者の方々に感染防止対策と社会経済活動の両立に向け取り組んでいただけるよう働きかける。

○ 病床使用率の状況を踏まえ、フェーズ1への引き下げを検討する。

○ 全数届出の見直しに対応した新たな取組については、9月26日の全国一律での適用から10日が経過した。この間、道の陽性者登録センターや陽性者健康サポートセンターの利用の普及に向け、メッセージ動画やSNSでの発信、Web広告の展開などを行ってきており、引き続き、多様な媒体の活用による発信や市町村の広報誌、情報誌等への掲載など、市町村や関係団体等とも連携を図りながら、幅広く情報発信を行っていく。

○ 見直し後、10日間の利用状況は、『<参考>「陽性者登録センター」及び「陽性者健康サポートセンター」の利用状況』（スライド㉖参照）のとおり。
陽性者登録センター分の新規感染者数全体に占める割合は、10月5日までの1週間合計で約16%と、東京都、大阪府の平均である約17%と概ね同水準となっているが、より一層の利用の促進を図るとともに、陽性者サポートセンターとの連携強化に努める。

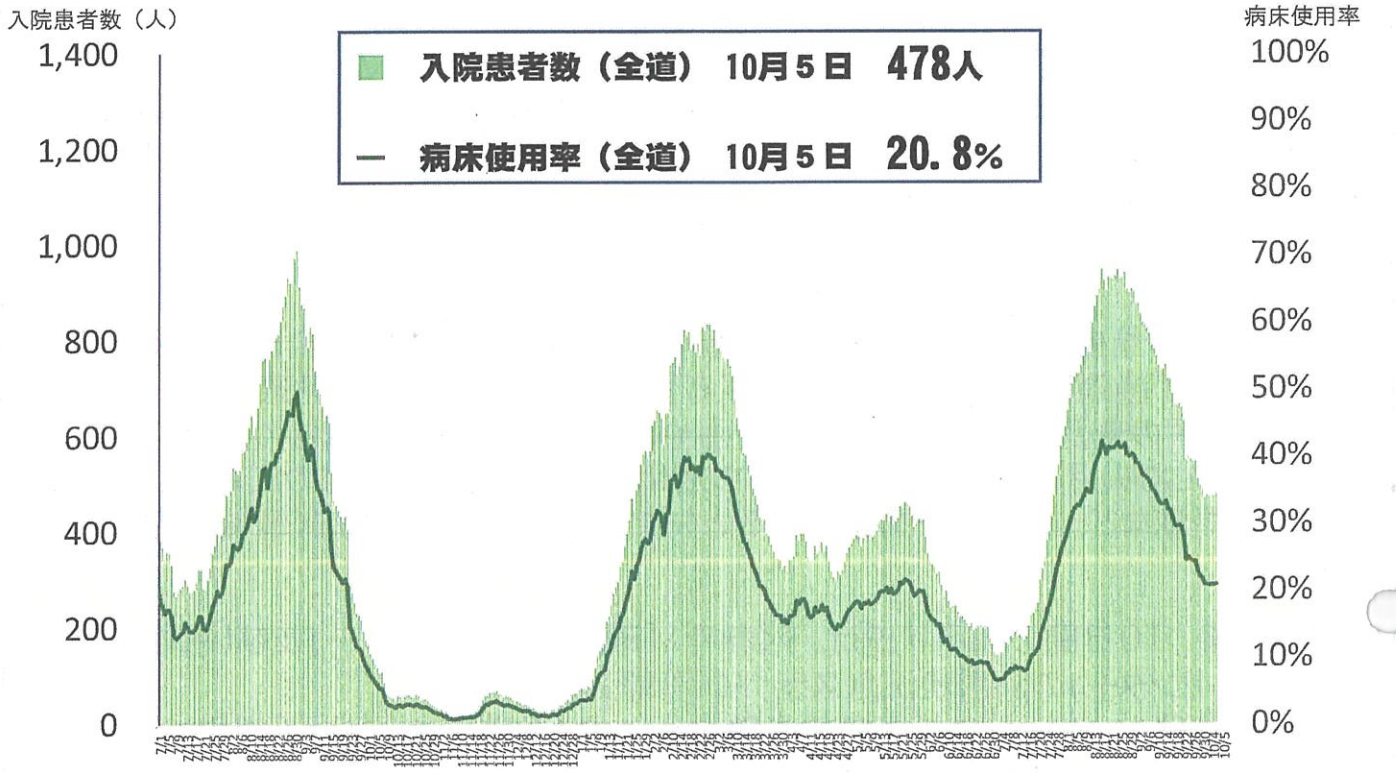
総　評　③

○ 陽性者健康サポートセンターについては、1日平均約200件の相談が寄せられており、より効果的な対応に向けて、具体的な相談内容、症状に応じた必要な支援などの傾向を把握・整理し、センターの機能の強化に努める。

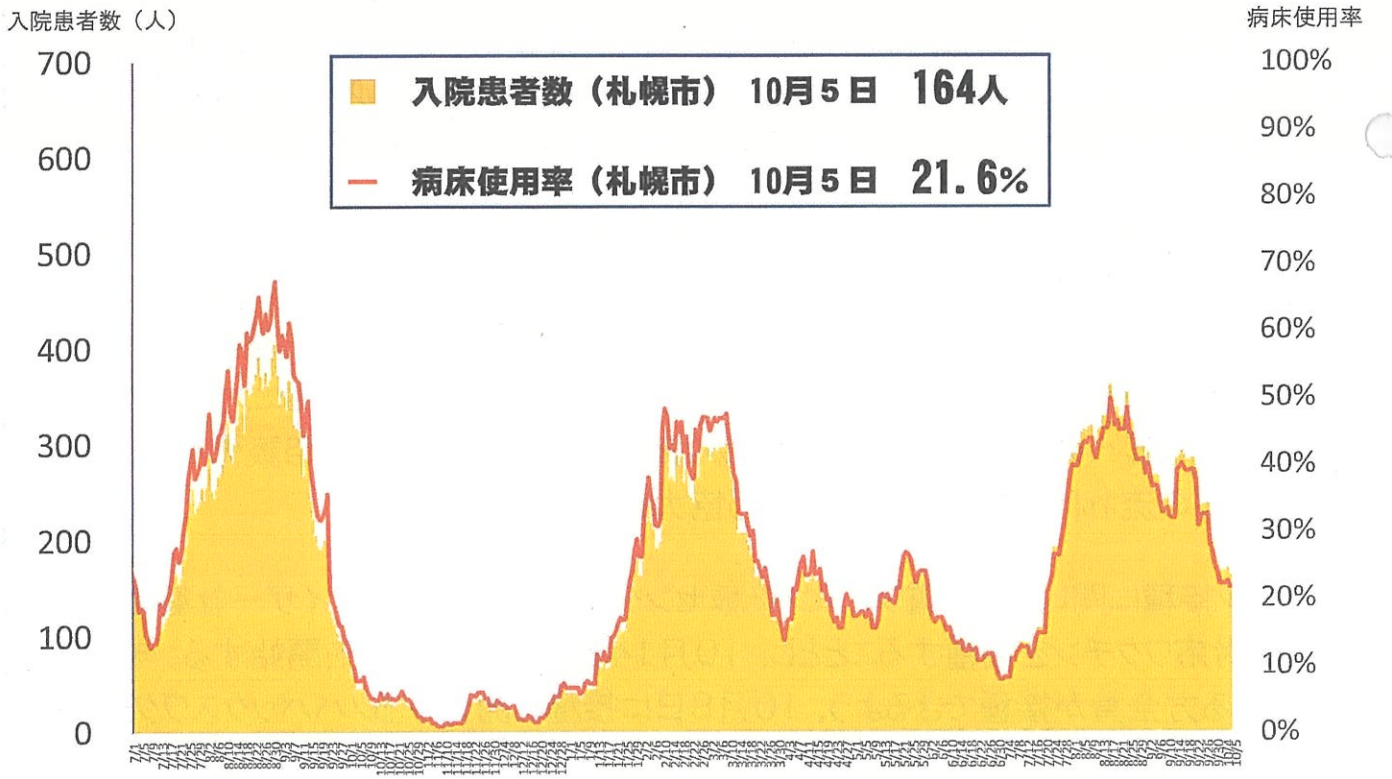
○ 10月11日から、全国旅行支援や水際対策の更なる緩和が実施され、今後、国内外から多くの方が道内を訪れることが見込まれる。こうした方々が安心して過ごすことができるよう、10月7日には、まずは全数届出の見直し後の新たな療養支援などについて観光事業者等を対象とした説明会を開催し、認識の共有を図るとともに、国内外から訪れる観光客への感染防止行動の実践や感染が疑われる場合の相談先など新たな療養支援の流れについて、周知するよう協力を依頼する。

○ ワクチン接種に関し、北海道ワクチン接種センターについては、ファイザー社製のオミクロン株対応ワクチンを接種することとし、10月14日から予約受付を開始する。年内に希望する方全員が接種できるよう、10月8日に接種を開始するノババックスワクチンと併せ、道の接種センターの活用を図りながら、丁寧な情報発信や市町村の体制整備の支援に努める。

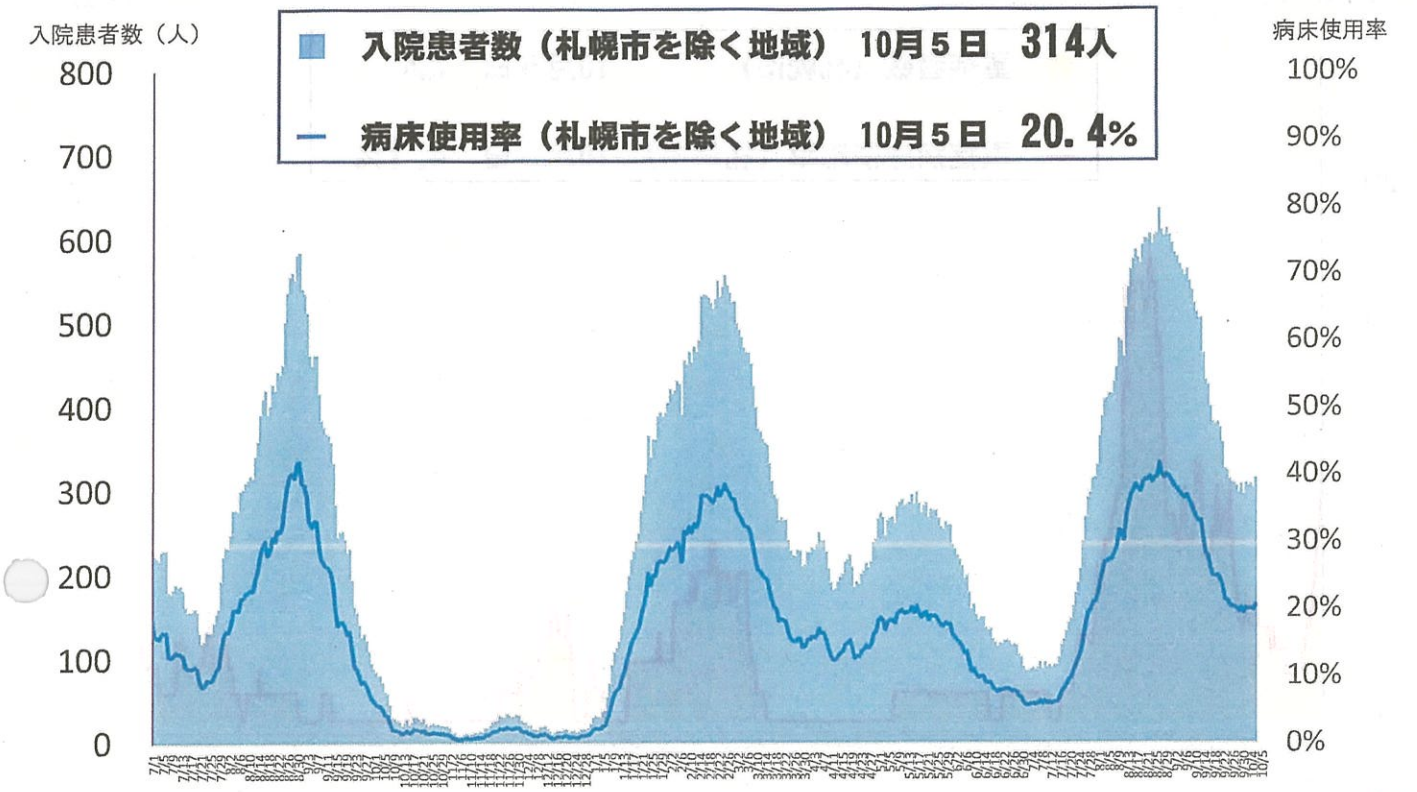
入院患者数と病床使用率（全道）



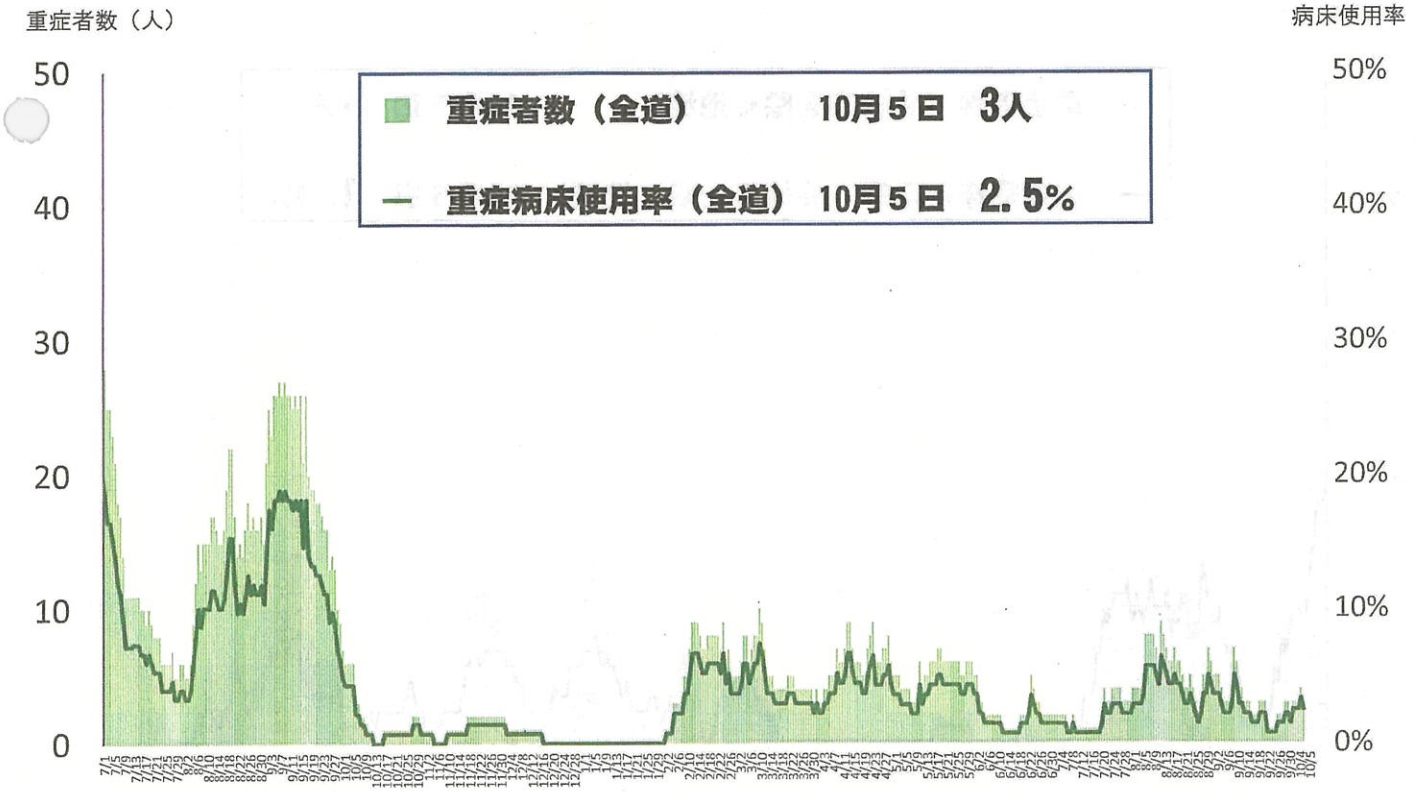
入院患者数と病床使用率（札幌市）



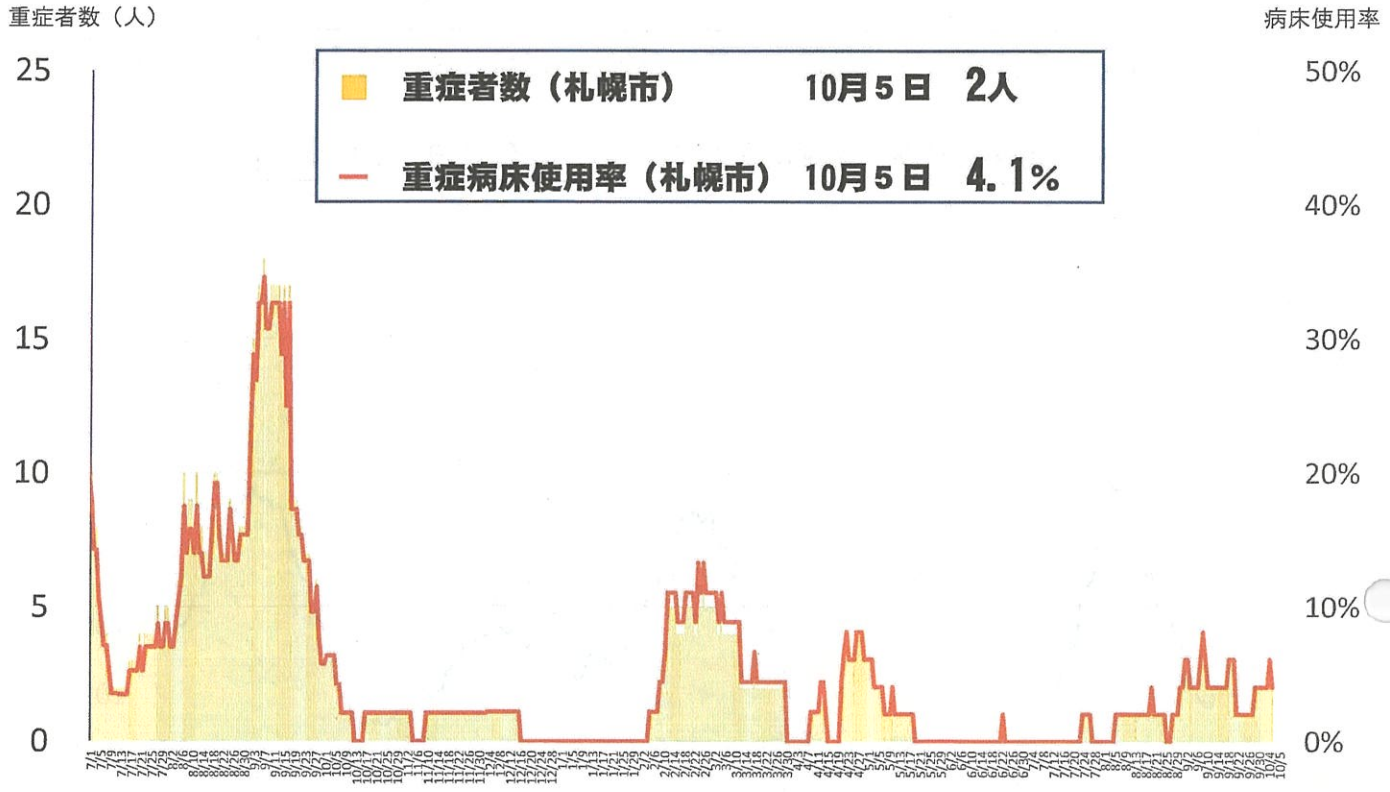
入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



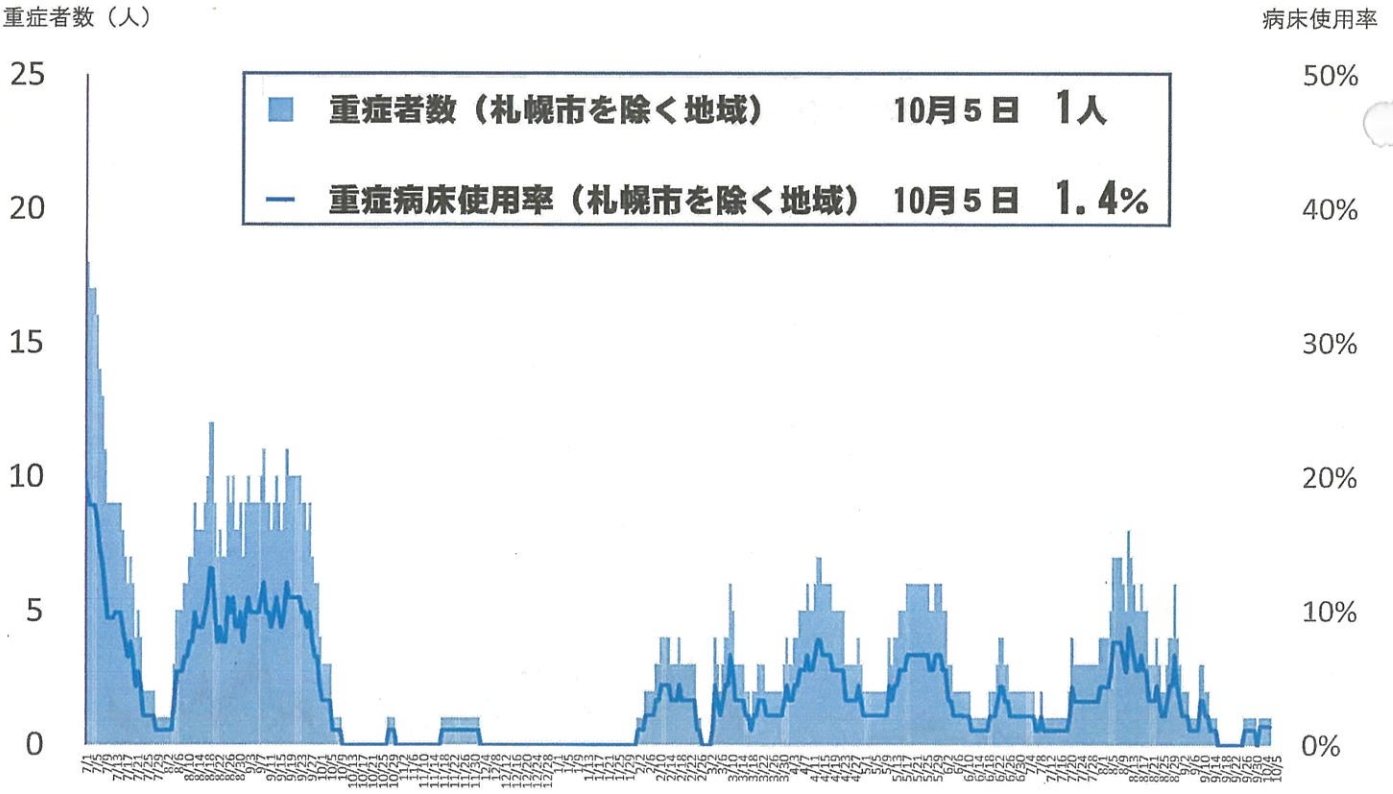
重症者数と重症病床使用率（全道）



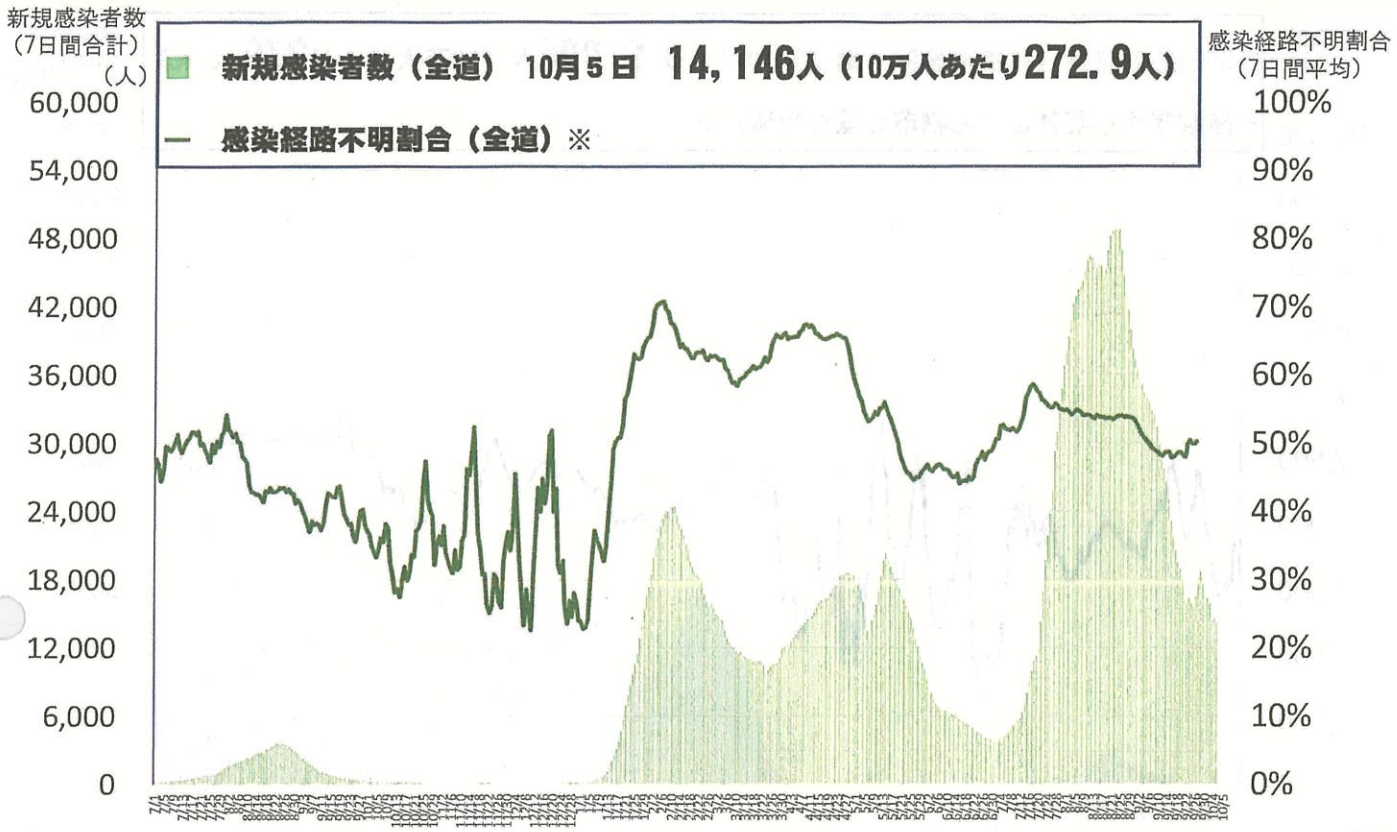
重症者数と重症病床使用率（札幌市）



重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

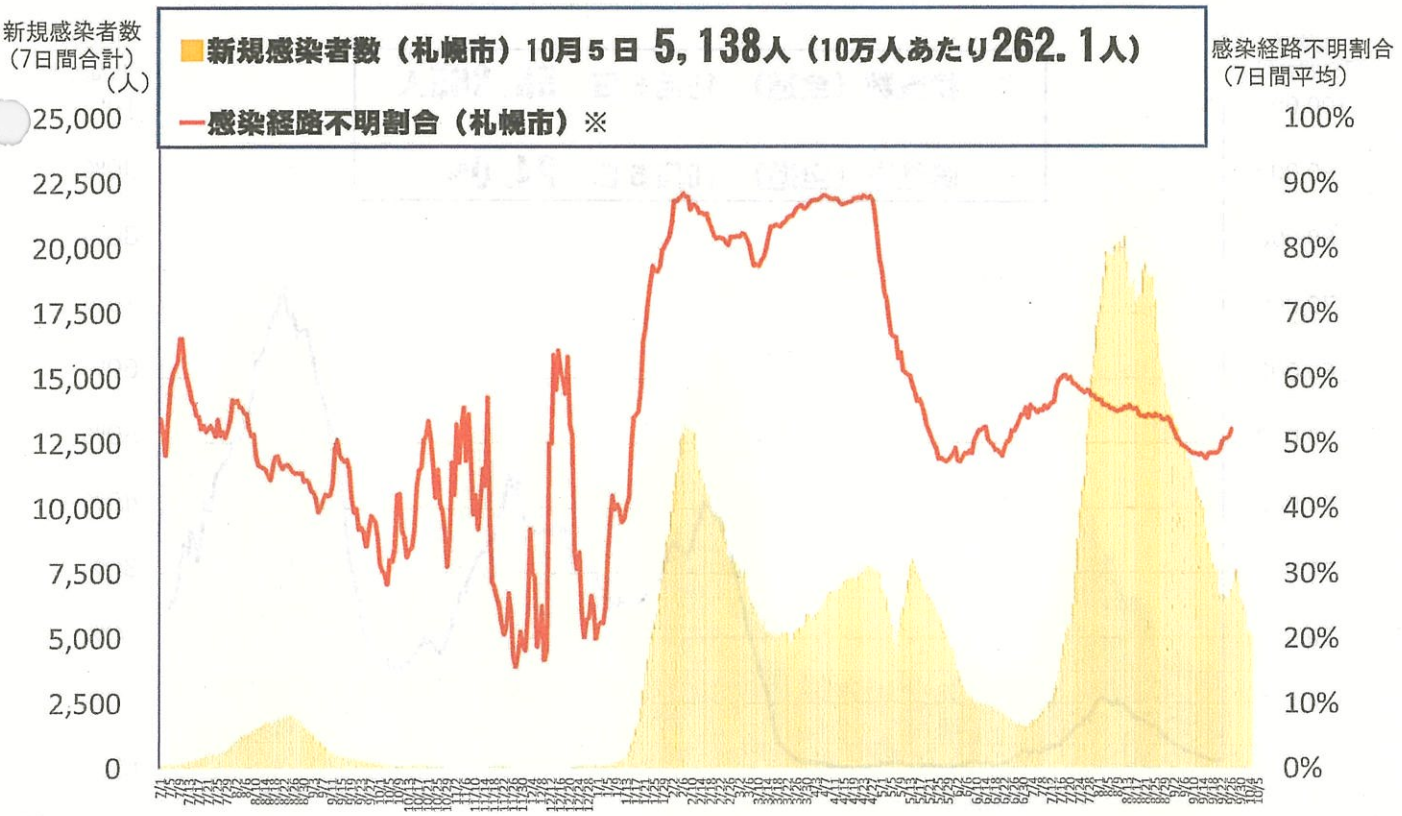


新規感染者数（全道）



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市）



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。